

## 多摩河原の夏



ホタルブクロ  
この河原で見る  
のはめずらしい。



ベニシジミ

ワンドに生えるマコモ  
肥大した新芽は食用  
になるため、各地で  
栽培されている。



カワラサイコ  
日当たりの良い河原で  
見られる小さな花。



カワジシャ  
近年は外来種のオ  
オカワジシャに押  
され気味。



メリケンガヤツリ  
外来種だが、カヤツリグ  
サ特有の姿が涼しげ



アレチウリ  
河原を覆いつくす嫌われ  
もの



オオフサモ  
アマゾンが原産地  
水槽用に使われる



コメッツヅメクサ  
シロツメクサの仲  
間です

6月初旬、環境モニターの会で久しぶりに訪れた多摩川。初夏はハルシャギクの盛りとあって花畑のように咲き乱れていた。以前はワンド近くにはこんなに咲いていなかつたが、別名ジャノメギクという洒落た名前もついている割には繁殖力の強い植物なのだろう。そのほか在来種に悪影響を及ぼすとされる特定外来種

調布は古多摩川が作った土地。このまちで、あるときは農業用水、あるときは建設用の砂

利採取、生活用水の廃棄場所と、その時々で都合の良い使われ方をしてきた多摩川。現在は市民の提案で羽村取水堰から毎秒2トンの水が流れていると言われる。護岸工事が整備されている現代では大昔のように多摩川の流れが変わることは無いが、それでもやっぱり川は生きている。

堰から流れ落ちる水からはマインアスイオンが発生し街中より涼しいので双眼鏡を片手に水辺のバードウォッチングなどいかがでしょうか。  
①コサギ（嘴と足は一年中黒く指は黄色。夏羽は頭と背中の飾り羽が目立つ）  
②ダイサギ（コサギよりも羽は青灰色に黒のライン。水辺で冠羽をなびかせじつとしていることが多い）  
④カワウ（堰の上にある送電線に止まっている黒っぽい鳥で嘴は黄色く、よく水に潜り羽を広げて乾かしている大食漢）  
⑤カルガモ（嘴の先端が黄色）  
※運がよければコアジサシ（別名・鮎鷹）がダイビングしてアユを捕らえる姿が見られる事もありますよ。

### 調布の生き物 鳥編

が登場した記憶がない。  
それでも甘い食べ物がな  
かつた時代、もっぱら黄色くなつて口を開いた赤い仮種皮を喜んで口にした記憶がある。原産地の熱帯ではこの赤い仮種皮が果実食の鳥を誘引し、種子を散布する植物の戦略なので、子供たちに進めてみたが、見ただけで口にする子供はなく、この戦略は現代

もう一つ、アーリーに招車を評価だ。建物の壁面に夏の直射日光が当たると、室温が上昇するので、それを防止する緑のカーテンを作る植物として脚光を浴び、食べられる緑陰植物としての存在だろう。特に今年は電力不足が想定され、国中で節電対策が叫ばれ、園芸店ではコーヤ苗の品切れが続いているようだ。

最近は品種の数も多くなり、果実が小型のものや苦みの少ない白ゴーヤなどもあり、栽培場所や味の好みに合わせて育ててみてはどうだろうか。

の子供たちには通用しないよ  
うだった。

沖縄料理のブームから全國的に導入され、食べるようになつたが、1990年までは害虫ウリミバエの拡散防止のため沖縄産のものは移入が禁止されていた。(現在は害虫も根絶され、沖縄産も入荷している。)

で船がすーと動きます。水溜まりが虹色の油膜で覆われるか、松の皮が重くなつて船が動かなくなるまで遊びました。

り起こしが進みました。幾度か書きましたが私が遊びまわった上の原近辺の崖線林には松が沢山生えていました。上の原小、神代中の庭にもいっぽう生えていました。それらの殆どの松の幹に、矢羽根の形をした深い削り溝があり、松脂（ヤニ）を採つた痕だと聞かされました。飛行機の燃料にしたという話も聞きましたがショウコンユは古い切株を乾留して採れるので、戦争遂行の大号令が民間に伝つて立派な木が残りました。

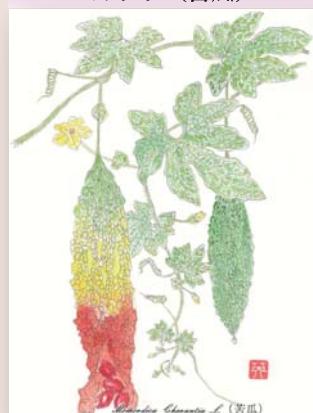
花の履歴書 ⑩

戸部英貞(絵・文)

## ツルレイシ(蔓荔枝)

ウリ科

### ニガウリ (苦瓜)



Momordica charanita L.

④ 崖線の松林

文瀨本敏行

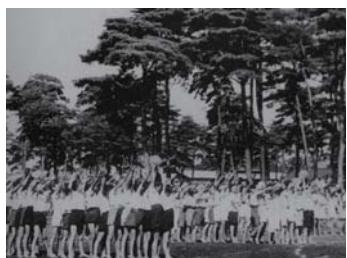


たり、「すみか」を作つたり日が暮れるまで遊びました。今思い出しながら考えてみると、崖線の高い木は、まず松ですが、火おこし用に杉の枯枝をよく拾いに入りましたから杉も混ざつていた筈です。亜高木と云つても高くて三~四メートル。細すぎて登れないような木が殆どで、林床は子供の腰の高さほどの笹に覆われていました。

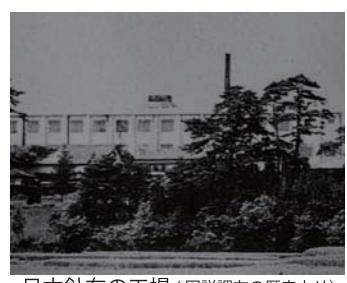
## 投稿\* マイフォト



富良野の大自然の中で育って 28 年前  
から調布に住んでいます。森、川、鳥、魚、  
草花、虫類が大好きで野川で会う鸞、カ  
モ、鯉、カワセミ、チョウに“元気かい！”  
と声をかけています。(西亦)



昭和 24 年頃の神由 (50 周年記念誌より)



## 日本針布の工場（図説調布の歴史より）

◆入間・樹林の会

民家と隣接する三角地の下草刈りを行いました。「タラヨウ」が生えているのでは、と横山先生から連絡があり、樹林地内を探しました。一緒に作業した子供たちは、葉の裏に文字が書けることを知ると驚き喜んでいました。また一昨年刈りつめた白アジサイがよく咲き、ちょっととした花見の名所となっています。



## タラヨウに字を書いてみる

( 安部 )

スズメバチがいたとの話もあり今後、注意が必要です。ミンミンゼミは啼きはじめた時期が遅いようですが、昨年同様カブトムシの頭が数匹落ちているのがみつかりました。花は、マンリョウ・ヤブミョウガ・ミズヒキ・アジサイ・タケグサ・ハエドクソウ・セノリヨウ・ツバキヤブミョウガには寒がついていました。

7月24日(日) 参加者5名

根本さんを講師に夏の方形枠調査を行いました。セブンイレブン財団の助成で購入した硬度計、照度計で方形枠内も測定。今後も調査項目に加えます。

6月12日(日) 参加者15名

・上部広場の草刈り・雨水による土の流出を止めるための横木を埋める・斜めに成長した常緑樹の間伐の3つの班に分かれて活動をしました。前回よりきのこが増えていた。

ホタルブクロが咲き始めました。

ナナフシを確認。



6月23日(木) 参加者3名

新しく第3緑地になつた所で、シユロ  
の根取り、クズ取り、アズマネザサ刈り。  
**7月10日(日) 参加者9名**

7月10日(日) 参加者9名

田辺に引し田辺に引し  
の活動にする。上部広場の草刈り。  
大坂のアズマネザ刈り。2本の間伐を  
する。

新しい方の参加があり、心強かったです。主に人が歩く筋の落葉かき、下屋敷坂の両側に堆積した落ち葉集め、枯草、枯木、一部子供の目の位置になるシユロ、アオキ、竹の処分、「ゴミ拾い」を行いました。また、H24年度の活動支援に関する緑と公園課との話し合いの報告をしました。落葉かきでカブトムシのお休みの邪魔をしてしまいました。（写真）。

◆田んぼの学校

6月19(日) 丈夫に育った苗で田植えをすることができました。25cm間隔に張った紐に沿つて十数人が並び苗を2~3本づつ植えていきます。一列終わったら全員で一歩さがつて同じことを繰り返していきます。もち米とつるち米を半分ずつ植えました。

7月10日(日) 田んぼの畔の草刈りをしたあと、田んぼの生き物調べをしました。

前回は主に用水路の生

◆田んぼの学校

枝お  
作業後

6月11日(土) 参加者5名

雨のため、たづくりで8／6の「甦れー  
雑木林 どんぐりから」森づくり「交流会  
の打合せ。



◆若葉の森 3・1会

雨のため、たづくりで8／6の「甦れー  
雑木林 どんぐりからの森づくり」交流会  
の打合せ。



市民活動の記録二二一

**7月21日(木)**  
台風の風雨のため、中止。  
(住田)

イヘントなど  
を立てるなど  
編集部より

◆各保全林でカブトムシが見られる季節。昼間は落ち葉の陰でじっとしているため、草刈や落ち葉かきをしていると、偶然発見されることが多いようです。子供たちにとつては夏の楽しみですが、大きな木の根元などを掘り起こし、穴があいたままにされるのは困りものです。掘り返した所は元こもどして置くようイベントなど

前回は主に用水路の生き物を観察しましたが、今回は田んぼの中です。田植えの後に生まれたホウネンエビやオタマジャク、ミジンコなどたくさんのが水生昆虫を見ることができました。



田植えの後、手を入れるとビックリするくらい暖かい田んぼの水にはウキクサがいっぱい。

# 雨の日散歩!

「雨どいが落ち葉で詰まるのをきらつて、樹木が切り倒されてしまつた」と言う話を聞いたことはありませんか。写真は、庇を伸ばして雨樋いを受け、下水にではなく地下に浸透させている仕組みは、市内では神代農場の管理棟にもありますので見にいつみませんか？秋の長雨がくる前に。

(江刺益子)



佐須S邸の屋根

## 東京の生き物調査2011 イン調布

7月23日(土) 朝8時より深大寺自然広場に親子など20名が集合。専門家2名の指導で、生き物調査を実施しました。昆虫観察には少し不利なうす曇りのお天気でしたが安全面ではベターです。子ども達が教わった通りに虫網を上手に使い次々と昆虫を捕獲。植物31種・昆虫68種・鳥4種を確認しました。このほか草地でひよっこり頭を出したアズマモグラを捕獲。すべすべした毛並みをなでなで。じっくり観察の後放すと、驚きの早さでもぐつてきました。その他、調査指標リスト以外にも水辺などで12種類、レッドデータ3種(ホトケドジョウ・モノアラガイ・イチヨウウキゴケ)を観察しました。

子ども達との「生き物調査」は今年で3年目ですが、「ここは本当に豊かなところだな～」とおもいます。力二山の雑木林と湧水が流れる水路と田んぼ。調布の貴重な自然遺産です。

(生き物調査実行委員会・Y&E)



田んぼで虫捕り



アズマモグラ



レッドデータのイチヨウワキゴケ

**6／7** 田起し前に植物調べをしました。今年、田んぼ内に優占的に生育していたのはスズメノトッポウと秋に播種したレング。昨年、優占していたスズメノカタビラとムシクサは今年は減少していました。数が少ないが、キツネアザミ、セイヨウアブラナ、コオニタジワコが今年初めて見られた。(Y-E)

**6／20** 今朝、田んぼで豊年エンドが生まれているのが確認できました。アマガエルのオタマジャクハむらわいっぽくになっていました。(Y-O)

- 8月6日は「どんぐりかい森を育てるプロジェクト」へ蘇れー雑木林 Part-1へのイベントを行います。
- 9／18(日) 9:30～12:00 tanakaz@emus.dti.ne.jp 田中あや
- 平常は毎月第一土曜に自然広場で保全活動を行っています。10時野草園横直接集合

## わよひの自然 みつけた!

マーリングリストより

- ◆ 8月6日は「どんぐりかい森を育てるプロジェクト」へ蘇れー雑木林 Part-1へのイベントを行います。
- 9／18(日) 9:30～12:00 tanakaz@emus.dti.ne.jp 田中あや
- 平常は毎月第一土曜に自然広場で保全活動を行っています。10時野草園横直接集合

## 入間・樹林の会

## 環境市民活動スケジュール

### 若葉緑地の会

原則毎月第2日曜と次の木曜に若葉町3丁目第3緑地で保全活動を行っています。参加希望者は直接現地へ。

- 8／14(日)・25(木) 9:30～12:00
- 9／11(日)・22(木) 9:30～12:00

### 若葉の森3・1会

原則毎月第1日曜に若葉町3丁目第1・2緑地で保全活動を行っています。参加希望者は直接現地へ。

- 9／4(日) 9:30～12:00

- ◆ 先の4グループとも活動への参加、その他は緑と公園課へお問合せ下さい。042-481-7083

### 環境モニター

8月はお休み。9月3日は多摩川の植物観察です。参加希望の方は環境政策課へお問い合わせ下さい。

042-481-7086

## 市民発ちようふの自然だより

◆ この「自然だより」は2009.3.15に設立された市民組織「ちようふ環境市民会議」が編集発行しています。身近な自然情報や写真、環境イベント案内、市民活動の記録、花のコラムなどを掲載しています。カンパとボランティアで支えられて現在隔月発行中です。

◆ “自然だより”は調布市環境部（市役所8F）、市図書館10館、地域福祉センター、あくろす2・3F、たづくり11Fみんなの広場、郷土博物館、実篤記念館、のほか、曼珠苑さん、みさと屋さん、などに置いてあります。応援カンパ・置き場所を募集中です。